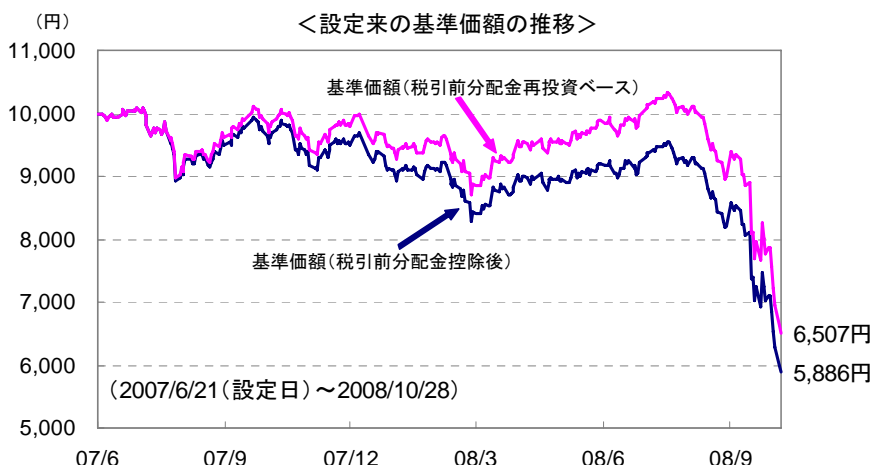


2008年10月29日  
日興アセットマネジメント株式会社

「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」  
10月の基準価額推移について

世界的な金融不安や景気の先行きに対する警戒感と、それらを受けてのリスク資産回避姿勢の高まりなどを主な背景として、世界的に株価は軟調となり、外国為替相場も激しい変動が続いています。これまで高い経済成長を期待して新興国の株式市場に流入していた資金が流出へと転じ、10月に入って新興国の通貨安が急速に進行しました。この動きは特に、商品市況の下落の影響を受ける資源国や金融システムの脆弱性が懸念されている国などで目立ちました。

このような状況の中、当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース、1万口当たり)は9月30日と比較して10月28日現在で▲28.0%となりました。



※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。  
 ※基準価額は信託報酬(年率1.268%(税抜1.223%)程度)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

●投資通貨の為替相場(2008年9月29日と10月27日の比較)

	10月27日	騰落率	備考
円／ブラジルレアル	41.89円	-23.7%	円高
円／トルコリラ	57.83円	-30.7%	円高
円／ロシアルーブル	3.44円	-17.0%	円高
円／インドルピー	1.88円	-15.9%	円高
円／10コロンビアペソ	0.39円	-19.2%	円高
円／チリペソ	0.14円	-26.9%	円高
円／マレーシアリンギット	26.11円	-14.4%	円高
円／ハンガリーフォリント	0.44円	-29.8%	円高
円／ポーランドズロチ	30.82円	-31.1%	円高
円／メキシコペソ	6.99円	-27.3%	円高
円／南アフリカランド	8.67円	-32.1%	円高
円／ユーロ	117.93円	-22.1%	円高
円／中国人民元	13.69円	-10.9%	円高
円／エジプトポンド	16.78円	-13.0%	円高
円／アメリカドル	93.84円	-10.8%	円高

※上記は2008年9月末現在、当ファンドが投資している債券の通貨を記載しています。  
 ※上記為替レートは市場の動向の参考として記載しており、ファンドの評価レートとは異なります。  
 ※上記は過去のデータであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

■当資料は、日興アセットマネジメントが「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

以下に、当ファンドが投資している主な国の状況について、当ファンドの主要投資対象「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントを紹介させていただきます。

#### 【ブラジル】

世界的な景気減速懸念や信用収縮の高まりにより、外国人投資家がブラジル株式市場から資金を急速に引き揚げたことなどからリアル安が進行しました。また、IMFにより2009年の中南米の経済成長が3.2%と過去4年間の平均5%から減速する見通しが公表されたこともこの動きを加速させました。中央銀行は通貨防衛のため、ドル売りリアル買い介入を行なっています。

ブラジルの経済成長は商品市況の下落により影響を受けるものと思われませんが、依然として相対的に高い経済成長力があると考えられます。利上げの可能性は低いと思われませんが、金利水準は依然として魅力的な水準となっています。現在の株式市場などからの資金流出が収まるに伴ない、為替市場の変動も落ち着いたものになると考えられます。

#### 【トルコ】

トルコもブラジル同様、投資家が新興国市場全般から資金を引き揚げる動きを受けてリラ安が進行しました。

大手格付機関のS&P社は、トルコについて、2001年の金融危機以来金融システムを強化している点や財政政策の実績から、信用収縮が起きても経済の健全性は保たれる可能性が高いとの見方を示し、トルコの格付見通しを「安定的」のまま据え置きました。S&P社はトルコの経常赤字が2008年のGDP比7.3%から2009年は5%へと縮小するとも予想しています。

リラは高金利通貨全般の下げを受けて下落しましたが、中央銀行は通貨防衛のための利上げは行わず、10月22日に政策金利を16.75%のまま据え置くことを決定しました。

#### 【インド】

BRICsの一角として高成長を期待して株式市場へと流入していた資金が急速に流出へと転じたことにより、ルピー安が進行しました。

中央銀行は10月20日に政策金利を1%引下げました。商品市況の下落でインフレ懸念が薄れていることなどから、経済成長を刺激するためにも今後追加利下げが行なわれる可能性が高いと思われれます。

#### 【今後の見通しと運用方針】

新興国は相対的に高い経済成長が期待されますが、足元では財政難を懸念される国やIMFの支援が検討されている国もあり、引き続き為替相場の変動も大きくなることが予想されます。しかしながら、世界的な金融市場の混乱が落ち着きを見せるのに伴ない、新興国市場を支えているファンダメンタルズが再び注目を浴びるものと思われれます。

当ファンドは新興国の通貨建ての世界銀行債券に投資しています。新興国通貨の為替変動の影響は受けませんが、債券の発行体である世界銀行は、強固な資本構造、堅実な財務方針や高度なリスクコントロールなどにより、1959年以来継続して最上級の格付(AAA/Aaa)を取得している国際機関です。

今後も当ファンドの運用方針に則り、相対的に利回りの高い、新興国通貨建て世界銀行債券に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいります。

引き続き「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」をご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

上記は、当ファンドの主要投資対象「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したもので今後の運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

## お申込みに際しての留意事項

### ■リスク情報

○当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があります、基準価額にも影響を与えることがあります。したがって、元金を割り込むことがあります。

○投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

#### 【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があります。

#### 【カントリー・リスク】

投資対象となる債券は新興国通貨建てで起債されたものであるため、新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針にしたがった運用ができない場合があります。情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。

#### 【価格変動リスク】

一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

#### 【流動性リスク】

市場の混乱などにより市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクがあります。新興国の通貨は、市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

#### 【信用リスク】

一般に公社債の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)するリスクがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

### ■その他の留意事項

○当資料は、日興アセットマネジメントが「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくため作成した販売用資料です。

○投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

○投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込メモ

- 商品分類 : 追加型証券投資信託／ファンド・オブ・ファンズ／自動けいぞく投資適用
- お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限(平成19年6月21日設定)
- 決算日 : 毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

## &lt;お申込時、ご換金時にご負担いただく費用&gt;

- お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

- 換金手数料 : ありません。

- 信託財産留保額 : ありません。

## &lt;信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用&gt;

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.268%(税抜1.223%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率[年率0.945%(税抜0.90%)]、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の組入れに係る信託報酬率[年率0.323%程度]となります。このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴い、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社

販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。

日興アセットマネジメント株式会社  
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
[コールセンター] 0120-25-1404

(午前9時～午後5時、半休日となる場合は午前9時～正午。土、日、祝・休日は除く。)

■当資料は、日興アセットマネジメントが「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第1号	○	
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第40号	○	○
オーストラリア・アンド・ ニュージーランド・バンキング・ グループ・リミテッド (銀行)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第622号	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第5号	○	
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第45号	○	○
株式会社泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第12号	○	○
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第47号	○	○
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第39号	○	○
中央証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第114号	○	
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第37号	○	○
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第6号	○	○
日興ローディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第129号	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第49号	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第21号	○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第18号	○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第3号	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第10号	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○

(50音順、資料作成日現在)